



令和4年度 大莞小学校重点目標 考える子どもの育成

ゆうかり

大木町立大莞小学校
三瀨郡大木町奥牟田 250
TEL32-1504 FAX75-8163
Email:oisyo@kumin.ne.jp

学校だより No.10 令和4年 9月 14日 校長 石橋 修

子どもの学びを充実させるために

前期後半がスタートし、2週間程が経ちました。心配されている新型コロナウイルス感染者数も少しずつ減少しつつあります。学校では、引き続き、感染防止対策を講じながら教育活動を進めてまいりたいと思っています。

さて、前号でもお知らせいたしました、学校の方では、学びの充実期を迎えるこの時期に、以下の点に留意して全学級で取組の実践を図っているところです。

- ①学習規律の徹底（授業開始時間と終了時刻の徹底）
- ②授業準備の徹底「物構え：筆入れの中身、ノート等」「身構え：授業中の姿勢等」「心構え：目的、目標をできるだけ明確化させる」等

子ども達の学びがより充実するように心がけていきたいと思っています。

タブレットを活用した学びの充実

ICT 機器を活用した学び（個別最適な学び）の充実が求められています。本校でも少しずつ朝の活動や授業の中での活用を取り入れ、学びの充実につなげています。



【朝の活動】での活用の様子



【算数の授業後半】での活用の様子

以前は、プリント学習を行っていましたが、タブレットによる学習も取り入れています。朝の10分ほどの時間ではありますが、国語や算数等の学習内容の定着を図るためにタブレットによる学習を取り入れています(左写真参照)。タブレットによる学びのよさの一つは、

子ども達が入力した答えをすぐに正解や誤答をフィードバックしてくれることです。

更に授業で学んだことを生かして新たな問題を取り組む際に、教科書問題に加えてタブレットを使って学習を進めています（前項左写真参照）。子ども達の学びの成果は、「問題の解答時間」「正答率」等が教師のタブレットに集約され、子ども達のつまづきの発見等にも役立ちます。これも、タブレットによる学びのよさの一つです。

言葉の力と同様に、情報収集・活用力は、これからの時代を生きる子ども達には必須の力と言われています。このような学びを継続して取り組んでいきたいと思えます。

令和4年度の全国学力調査結果

4月に行った全国学力・学習状況調査（児童質問紙含む）の結果が先月文科省から届きました。結果は以下の通りです。（6年生対象）（理科は3年毎に実施）

	国語科	算数科	理科
大莞小学校	全国平均より少し高い	全国平均より高い	全国平均より少し高い

算数科では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」において高い数値となっていました。一問一答のような一昔前のテストと比べ、近年は、算数科であっても、2ページにわたる問題文や表に記載されている情報を読み取り、数と数との関係、分かっていることと尋ねてあること等を正確に理解する力が求められます。その上で、文章と式を交えて5、6文で回答する必要があります。大莞小においては、そのような学習（難問）に対する学習をこれまで積み上げてきましたので、今回の良好な結果は、これまでの取組の成果として表れているのではないかと受け止めています。

一方で「児童質問紙」においては課題も明らかになりました。その一つは、「携帯電話等を使って動画等をどの程度見ているか」との質問において、「1日4時間以上」と答えた割合が全国平均と比べ約3倍の結果でした。もう一つは、「自分にはよいところがあるか」との質問において、「当てはまる」と答えた割合が全国平均と比べ低い結果でした。

この結果を受けて、学校の方では、「成果」の部分は引き続き取組の継続を図る

とともに「課題」の部分に関しては、改善を図っていきたいと考えています。特に、子ども達への頑張り・伸びに対しては称賛の言葉かけを意識して行っていきたいと考えています。

携帯電話等の視聴時間：4時間以上

